# ナント留学を終えて。

経済学部　奥木拓也

○ はじめに

私は、学部生４年次の 2017 年 9 月から 2018 年 2 月にかけて、6 カ月間、ナント大学へ留学をしました。その経験を踏まえて、これを読んでいる皆さんに少しでも役に立てるように、留学体験談を書いていきたいと思います。以下、段落別に書こうと思うので、皆さんにとって、重要だと思う部分だけでも読んでいただけると幸いです。

○ 留学の理由・目的

留学の選考を真剣に考え始めた当初の私には明確な目標はありませんでした。私は大学入学当初から、長期留学に強い関心がありました。しかし、選考に応募するにあたって明確な理由や目的を考えた時、すぐに思い浮かべることができない自分がいました。もちろん、言語力の向上や現地での異文化交流をしたいという強い気持ちはありましたが、それ以外の特徴的な理由が見つかりませんでした。それから私は悩み込んでしまい、たくさんの人に相談し、理由探しに多くの時間を費やしてしまいました。しかし、その長い時間で、自分の中で考えを整理することができました。その結果、私は、留学の理由は上記の二つの様なありきたりでも、その理由が強ければ良いと考えました。実際、相談させてもらった人にも、そういった素直で熱い理由で留学に行っている人も数多くいました。私の中で、留学の理由とは、自分のやっている研究がその国や大学、学部でしかできないなどの専門的な理由が必須だと勝手に思い込み、多くの時間を準備に割いてしまいました。その時間が無駄だったかと言えば、そうではありませんが、もし留学を迷っている人がいるなら、悩みすぎずに決断しても良いことを伝えたいです。私は、迷いすぎて時間がないという理由で、長期留学に行かない選択をすることは絶対に避けるべきだと考えていますし、その考えも留学を決めた一因になったと思います。

長くなりましたが、最終的に、私の留学の理由・目的は「フランス語力の向上」、「異文化交流」、それに加えて、自分の色をつけるために、私の好きなラグビーでの「スポーツによる外国人との交流」としました。

○ 授業内容

私は、ナント大学に付属する語学学校に通いました。学校が始まる前に、クラス分けのためのテストを受けて、６段階（A1、A２、B１、B2、C１、C2）のレベル別に分類されます。私は初め B1 のクラスでしたが、自分には授業進行が速すぎたので、A2 に変更してもらいました。最初のテストは重要ですが、この様に学期の初めの方であればレベルの変更は比較的融通がききました。レベルやクラスによって、講義数や時間帯の差はありますが、私のクラスでは、午前授業で午後は自由という日と、午前自由で午後は授業という日が交互にあって、とてもバランスの良い時間割でした。１コマ２時間が、１日２コマあり、課題は毎回出ましたが簡単に終わるものが多かったです。授業はそれぞれ、Écrit、Oral、 Grammaire-Vocabulaire、Phonétique、

Vivre en France があり、基本的には、常にノートを取るというより、まさに「非日本的な」、学生が参加しながら授業を進めていくというスタイルでした。慣れないうちはストレスに感じることもありましたが、徐々に自分から発言する力もつき、参加することが楽しくなりました。

また、特に Oral の授業では、クラスの中で前に出て、話さなければならないことが多くありました。これも最初は大変に感じましたが、とても貴重な経験になりました。日本語でさえ、前に出て発表するのは緊張しますが、フランス語で行うのはより難しいモノでした。しかし、それを終えた後は大きな自信に繋がりましたし、その発表したことに関する知識の定着は早かったです。

授業題材としては、フランスの事だけでなく、クラスメイトのそれぞれの国についても、先生から質問を投げかけることが多々あり、言語だけでなく、フランスや他の国についても知る事ができ、とても興味深い講義でした。一方、日本の文化を質問されることも多々あり、説明ができずに苦戦することもありました。

○ <u>生活の環境、生活スタイル</u>

私は交換留学生として、ナント大学に行ったので、指定の学生寮に住みました。ナントには交換留学ではない日本人学生も多く、自分でアパートを探している人もいましたが、基本は指定の場所に住むことになると思います。部屋自体は、広さはなかったものの、机やベッドも新しく、鉄筋コンクリートで壁も厚かったので、音も特に気にせず、快適に過ごせました。トイレやシャワーも狭いですが、共有ではなく部屋についていたので良かったです。キッチンは共有で、コンロや流し台も限られていたので、混まない時間を狙って調理をするようにしました。寮には、フランス人や自分たちのような外国人留学生などが混合で住んでおり、キッチンで会う時には軽く会話をしたり、寮内ですれ違う人とも基本的には挨拶をしました。

また、食生活については、基本的には寮で自炊をしており、お米中心の生活からパンやパスタ中心の生活に変わりました。人によっては、もっと多くのバリエーションの料理をしていましたが、私は時間とお金がかからず、健康に問題ない程度の料理をしていました。買い出しに行く際は、近くのスーパーマーケットを利用しました。そこでも、フランス語を使ったり、読んだりする機会が多く、その感覚が新鮮で、買い物に行くだけでも楽しめていたことが強く印象に残っています。週末に、レストランに行くこともありましたが、味が良く、量も多い分、値段は日本の倍近くしたので、頻繁に行くことはできませんでした。レストランに行くために、普段の食事を節約していたのもあったと思います。

生活スタイルは、基本的に平日は午前午後のどちらか授業、空いた一方は、寮の机で前日又は当日の授業の復習やプラス $\alpha$ の勉強をしていました。夜は、日本人フランス人問わず友達と遊びに出かけたり、大学のラグビー部の活動に参加したり、勉強だけをしている日もありました。休日も基本的に、友達と遊びに出かけるか、自宅学習をしていました。時々、部活の試合もあったので、それにも参加しました。周りの学生は、休日を活用して、頻繁に旅行に行っていましたが、私はほぼナントに滞在していました。その代わりに、旅行に行かずにお金を貯めた分、学校の過程修了後に、一カ月間まとめて、旅行を満喫しました。

○ 留学を通して学んだ事

留学を通して学んだことは、半年間だけでも数え切れない程たくさんあります。その中で最も大切だと感じたのは、海外生活が心地良い環境であったということです。個人差はあると思いますが、私にとっては、海外生活はほぼストレスに感じることは無く、すべて新しく楽しい経験として捉えていました。海外渡航前は、海外は事件などが多く怖い場所である上に、言語の壁が大きくストレスのかかる生活だと思っていました。しかし、実際は、日本で報道されるほど危険ではなく、むしろ、親切な人が多かった様に感じました。また、言語の壁にぶつかる度に、それが言語学習の上でのモチベーションになり、やはり、留学は言語能力向上には最高の環境だと、その都度感じていました。留学前に、留学に行かなくても、日本の語学学校に行けば十分と言われ、思い悩む時期もありましたが、留学では、学校以外の生活もすべてフランス語であり、むしろ、学校で学んだことを、学校外で実践して、身に付けることができ、それが重要だと感じました。

また、留学したことで言語能力も向上しました。それは当然のことだと思いますが、言語能力向上の中でも、フランス語で話すことへの抵抗が無くなったことが最大の収穫だと思います。それまでは知っている表現でも、使うことを躊躇ってしまうことも多くありましたが、最終的には自分から積極的に質問することができるようになりました。成長後のレベルとしては、日常会話には困らないくらいで、軽い雑談ができるくらいだと思います。ただし、これは自己評価であり、相手の話すスピードや内容にもよります。

○ 留学を勧める理由

私が留学を勧める理由は、兎に角、留学生活が楽しいからです。「楽しい」とは、笑顔になれることだけでなく、新しい経験や発見を通して、心躍ることも示します。この感覚は日本国内にいても経験できますが、留学生活の中では、この「楽しい」感覚の連続でした。私は留学先で、日本人留学生と話す時、「留学に来て良かった。」という話を何度もしました。どちらからも、この会話を切り出すこともありましたし、どの時もお互いに強く共感していました。これが留学を勧める上で、シンプルでいい理由だと私は思います。

また、他にも理由を加えるとすると、留学をすることで自分の人生設計がより明確にできるようになったり、外国人の友達が増えたり、留学しなければ一生経験できないようなことがたくさんあります。まず、人生設計については、上でも述べた通り、私は目標が曖昧なまま留学に飛び出してしまいました。しかし、留学生活を経験したことで、将来の目標を明確にできました。また、留学することでクラスメイトやフランス人学生の友達を数多く作ることができました。留学先の外国人、特にフランス人は皆とても優しく、街の案内をしてもらったり、パーティーに誘ってもらったり、本当に良くしてもらいましたもし彼らが日本に来た際は、盛大に歓迎して、恩返しをしていきたいと考えています。

○ **最後に**

最後になりますが、私の留学生活が実りあるものとなったのは、現地での手厚いサポートをしていただいた「なんとなくナント」の皆様、留学準備時期から大変お世話になった留学交流推進課の皆様、経済学部学務係の皆様のおかげです。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。私の留学生活は沢山の方々に支えていただいき、本当に充実していました。日本に帰りたいとも思うこともありませんでしたし、もう数年滞在したいと思うほど楽しいものでした。頂いた恩を忘れずに、留学生活で培ったことを活かして、より良い人生にしていきたいと思います。

マシンドリル、象

ブルターニュ城

パッサージュポムレ、クリスマス装飾